

共愛学園前橋国際大学(学部入学定員:1年次225人・3年次5人)

[取組学部・研究科等:国際社会学部(1年次225人・3年次5人)]

【構想の目的・育成するグローバル人材像】

「次世代の地域社会を牽引するグローバルリーダー」を育成するグローバル人材像に据える。本構想を契機として、これまでのグローバル人材育成の方向性を、大学の中心的な戦略に位置づけ、大学全体のグローバル化を図りながら、さらに発展させ、具体的な成果に結びつけることを目的とする。

【構想の概要】

地域連携・協働による「Gunma Global Project Work」や「Global Career Training副専攻」など、学生はもとより地域の社会人や児童・生徒も参画する人材育成プログラムを中心に据えつつ、本学の教育や運営のグローバル化も同時に推進する。

## ■ 教育課程の国際通用性の向上

### ○ 教育課程の国際通用性の向上のための取組

「Global Career Training副専攻」の開設によるグローバル教育カリキュラムの充実、ナンバリング制導入によるカリキュラム体系構築、シラバスの充実や多言語化、厳格な成績評価制度を確立、アクティブラーニングをより一層充実させ学修時間の確保による単位制度の実質化を推進。

### ○ 戦略的な国内外への教育情報の発信

公式WEBの英語化、SNSの積極活用、本構想専用サイトの構築、シンポジウムやセミナーの開催の他、各種媒体を通して国際的に求められる情報を発信。地方小規模大学が地域連携を軸としてグローバル人材育成を推進するモデルとなる。

### ○ 事務体制のグローバル化

国際交流センター・留学生支援センターを強化。学内文書等の英語化を展開。



〈アクティブラーニングのために建設されたKYOAI COMMONS〉

## ■ グローバル人材として求められる能力の育成



### ○ 地域連携による人材育成～Gunma Global Project Work～

地域企業、地域教育界、連携大学、そして本学によりグローバル人材育成推進協議会を形成し、学生はもとより、社会人、児童や生徒が地域と世界を結ぶグローバル人材に成長できるよう、共に学び合うしくみを生成。

海外インターンシップや企業・県の海外拠点との交流学习、本学の副専攻への社会人受け入れ等によるグローバル社会人力養成、社会人と学生によるPBLで児童・生徒の学びをプロデュースする等のグローバルな人材を育てる人材の育成等を展開。

### ○ Global Career Training 副専攻

語学を学ぶGlobal Language Intensive (GLI)、理論とスキルのGlobal Skills (GS)、実践学修のGlobal Project Work (GPW) の3科目群で構成。GLIには「English for Global Issues」「Speaking of Japan」「Professional Presentations」など多数の実践的語学学修に加え1対1英語コミュニケーション学修プログラムを導入、GSでは「Global Leadership」「Multi-Cultural Understanding」「Multi-Cultural Communication」「Global Business Training」等多数の科目を全て英語によるアクティブラーニングとし、社会人も受け入れ、GPWはGunma Global Project Workへの参加を単位として認定。

## ■ 語学力を向上させるための入学時から卒業時までの一体的な取組

### ○ 入試における中等教育段階までの外国語力・留学経験等の適切な評価

TOEIC・TOEFLを推薦入試等の基準へ採用、留学経験を重視できる入試制度の改革、入学希望者・入学予定者へのTOEIC講座や留学ガイダンスの提供。

### ○ 効果的な語学教育及び教育体制

入学前TOEIC講習を実施、学期毎のプレースメントテストを継続、外国語論文作成(アカデミックライティング)能力の育成、海外進路支援の導入、1対1英語コミュニケーション学修や外国語センターによるe-learning等の導入・充実。

## ■ 教員のグローバル教育力の向上

### ○ 教育体制のグローバル化

外国人教員等を4割から5割へ。海外における教育研究活動支援。英語のみで行われる授業やインターネットを活用した1対1英語コミュニケーション学修などグローバル化を促進する教育方法の導入。

### ○ グローバル教育力向上のための取組

海外大学における研修、海外大学講師招聘によるFD、「Good Practiceパンフレット」、海外研修や海外研究等の評価、等。

## ■ 日本人学生の留学を促進するための環境整備

### ○ 動機付けや留学を促進するための取組

海外留学奨学金の拡充(補助外)、入学前・入学時ガイダンスの実施、留学サポートデスクの設置。海外提携大学の増加と海外留学プログラムの拡充。

### ○ 留学中から帰国後にわたるサポート体制

ICTを活用した留学学生交流システムの構築とテレビ会議を活用した留学学生メンター制度の導入。産業界との連携によるインターンシップ等就業力向上と海外経験学生の就業に関する支援。

卒業・修了時に学生が修得すべき具体的能力

地域に根ざしながら、地域と世界を繋ぎ、海外の活力を地域に取り込み、地域の振興を先導する人材である「次世代の地域社会を牽引するグローバルリーダー」は、ゆえに「地域と世界を繋ぐリーダーシップ」を持たなければならない。そのために、  
 「英語(＝語学力)によるコミュニケーション能力」  
 「主体性・積極性・チャレンジ精神・協調性・柔軟性・責任感・使命感」  
 「異文化に対する理解と日本人・地域人としてのアイデンティティー」  
 を修得すべき能力とする。

「地域と世界を繋ぐリーダーシップ」の伸長を測る指標として、「社会人基礎力」「海外への親和性」「異文化理解」「地域への親近感」に係る学生の自己評価を統合し、本学独自のグローバルポイントを設定し、毎年度卒業生の7割以上が4点以上(6点満点)となることを維持する。英語力については、下記に設定される外国語カスタンダードを用いる。

本構想において実現する達成目標

全学		2011	2012	2013	2014	2015	2016	
外国語カスタンダードを満たす学生数				35人	45人	45人	55人	
うち海外留学未経験者数 (A)				5人	5人	10人	10人	
海外留学経験者数 (B)		74人	85人	109人	110人	120人	135人	
卒業[予定]者数 (C)		199人	271人	284人	239人	251人	230人	
比率 ((A+B)/C)				40.1%	48.1%	51.8%	63.0%	
国際社会学部	卒業時の外国語カスタンダード	TOEIC600点 中国語検定2級		35人(5)	45人(5)	45人(10)	55人(10)	
	海外留学経験者数	74人	85人	109人	110人	120人	135人	
	3カ月未満	56人	69人	80人	85人	90人	100人	
		3カ月～1年	18人	16人	29人	25人	30人	35人
		1年超	0人	0人	0人	0人	0人	0人
卒業[予定]者数	199人	271人	284人	239人	251人	230人		
国際社会学部 英語コース(うち数)	卒業時の外国語カスタンダード	TOEIC730点		15人(0)	20人(0)	20人(0)	25人(0)	
	海外留学経験者数	67人	73人	90人	65人	70人	65人	
	3カ月未満	53人	59人	67人	50人	55人	50人	
		3カ月～1年	14人	14人	23人	15人	15人	15人
		1年超	0人	0人	0人	0人	0人	0人
卒業[予定]者数	75人	95人	98人	74人	79人	70人		

※1)「外国語カスタンダードを満たす学生数」の学部ごとの記入欄の( )内は、外国語カスタンダードを満たす学生数のうち「単位取得を伴う海外留学未経験」の学生数を示す。

※2)上記の「海外留学経験者数」は、いずれも単位取得を伴う海外留学経験者数であり、単位取得を伴わない海外留学経験者は含まない。